

お金を使う ②お金はかしく使おう (15分)

【ねらい】 ■限られた収入の中で、「何」に「どれだけ」お金を使うのか、「支出」について考える。

■「支出」について考える場合、「必要なもの」と「欲しいもの」に分けて考える大切さを理解する。

【評価のポイント】

■お金を使うときに、「必要なもの」と「欲しいもの」を分けて考えられるようになる。

項目時間	授業内容	使用教材など
導入	0:00 ●授業のねらいを知る みなさんは、お小遣い（お金）を使うとき、気をつけていることはありますか？ →何人かに発表してもらおう それぞれ気をつけていることがあるようですね。 今日は、お金の使い方について考えてみたいと思います。	(準備) ■進行スライド ■ワークシート ■資料集（必要に応じて）
	2:00 ●導入まんが「一人暮らしできるかな？」 スライド2 ある日、一緒にテレビを見ていたあゆむとゆめこ。 今年の新卒者の初任給についてのニュースが流れてきました。 ゆめこ「〇〇万円で一人暮らしできるかしら・・・。」と不安げ。 あゆむ「〇〇万円もあつたら、何でも欲しいもの買えちゃうな。」と嬉しそう。 スライド3 あれもこれもと欲しい物を想像しているあゆむを横目に、「家賃や食費が平均でどれくらいかかるのか、あゆむくん分かってないんだろなあ・・・。」と呟くゆめこ。 * ○の中の数字は、授業のねらいによって数字を変更することができます。	■導入まんが スライド2,3 「一人暮らしできるかな？」 参考：厚生労働省「賃金構造基本統計調査（初任給）」
展開	4:00 ●班WORK まんがにも出てきたように、一人暮らしにかかる費用について考えてみます。 細かな金額を考える前に、まずは収入（100%）に対しての平均的な一人暮らしの支出の割合について考えてみましょう。	スライド4 ■ワークシート
	8:00 WORKの確認 平均的な一人暮らしの支出の割合 (スライドで回答を確認した後) 生活するために必要なものには、全てお金がかかります。 入ってくるお金（収入）には限りがあるので、住居費や食料費、光熱・水道費など使うお金（支出）も限られたものになります。 このような家の「収入」と「支出」のことを「家計」といいます。 生活の中で「何を重視するか」によって、支出の割合（金額）は人それぞれ違います。	スライド5
	11:00 「必要なもの」と「欲しいもの」 お金を使う（支出）場合、使えるお金には限りがあるので、全て手に入れることはできません。生活するために「必要なもの」なのか、なくても困らないが「欲しいもの」なのかを考えることが大切です。 ●個人WORK では、先ほど考えた11の費目について、「必要なもの」なのか「欲しいもの」なのか考えて、ワークシートに書いてみましょう。決まった答えはありません。それぞれ違う区分けになると思います。	スライド6 スライド7 ■ワークシート
まとめ	14:00 ●まとめ 一人で生活するようになったら、限られた「収入」の中で「支出」を考えないといけません。 使えるお金には限りがあるので、お金を使うときには「必要なもの」か「欲しいもの」か、考える必要があります。	スライド8

■補足スライド「3つ」のお金の使い方

「必要なもの」と「欲しいもの」を具体的に知りたい場合などに活用できます。（3つの区分けは、あくまでも目安です）